



並木中等story

令和3年3月1日号

3月1日の卒業式式辞です。

●暖かな日差しに春を感じられる季節となりました。本日ここにPTA会長 山口淳様、をはじめ、ご来賓並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、令和2年度卒業証書授与式を挙行できますことは、私たち教職員一同この上ない喜びでございます。また、今日までお子様を慈しみ、育ててこられました保護者の皆様には心よりお祝い申し上げます。

●6年次生の皆さん、茨城県立並木中等教育学校の全課程の終了、そして、ご卒業、おめでとうございます。皆さんは多くの人に支えられて、卒業を迎えました。きっと皆さんを支えてくれたすべての人が、皆さんの卒業を喜んでいることと思います。支えがあったから今があること、感謝の気持ちを忘れないでください。

●さて、ここで、みなさんに2つほどお話をしたいと思えます。

一つ目です。性別、年齢、住む場所を問わずに、すべての人に平等にあるものは何でしょうか。わかりますか。それは時間です。時間は誰にでも同じようにあり、過ぎていきます。特定の人だけ長いということはありません。また、時間は取り戻すことはできません。お金で買って増やすこともできません。皆さんは時間をどのように使っているのでしょうか。並木中等での6年間では有効に使えていたでしょうか。今後、皆さんの時間の感覚は同じ1日24時間であっても、これまでより、短く感じられるようになると思います。この時間をどのように使うか。この使い方が、皆さんの将来を大きく変えることとなります。志がある人は目標達成の時点からの逆算をしてみてください。時間には限りがあります。時間を無駄にできないことが分かります。

●もう一つは、皆さんは並木中等教育学校の卒業生であるということです。並木中等教育学校は県から、日本そして世界のリーダーを育成して欲しいということで設けられた学校です。課題探究、アクティブラーニング、ICT機器を活用した授業など皆さんは6年間、他校より進んだ教育を受けてきました。この学びは、卒業したら終わりではありません。Be a Top Learner!の校是の基、学び続けてきた姿勢を今後も活かしてください。授業で学んだことを大学等での研究につなげてください。皆さんには大きな可能性があります。今後の活躍を期待します。(一部省略)

●6年次生の皆さん、今年度は新型コロナウイルス関連などで行事が減り、皆さんには残念な思いをさせていただきましたが、例年にはない新たな思い出もつくることができました。ありがとうございました。皆さんの前途が幸せで満ちあふれるものになることを祈念いたしまして、式辞といたします。